

作物生産学特論演習Ⅱ (2単位)

担当者氏名 池田良一・玉井富士雄・名越時秀・平野繁

◆学習・教育目標

作物生産学特論演習Ⅱは基本的に作物生産学特論演習Ⅰに準じて行う。受講者の研究テーマに関わる欧文文献を主体にした文献紹介とディスカッションを中心に進める。また、演習の一部として、学会発表等のための発表要旨作成およびプレゼンテーション技術を指導し、学会発表を行わせる。これを通して、各自の研究の意義、位置づけを的確に把握させるとともに、適切な研究理論、手法を理解させ、学位論文の取りまとめおよび学会誌への投稿につなげることを目的とする。

本演習は、原則としてゼミ形式で行うが、必要に応じて各担当教員による講義を行う。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

作物生産 _____ 作物生理生態 _____ 栽培環境 _____ 研究理論 _____
 研究手法 _____ プレゼンテーション _____ 論文作成 _____

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	文献紹介（4回）	欧文文献を主体とした紹介、ディスカッション	事前に紹介内容の要旨および該当論文のコピーを受講者、教員に配布することが望ましい。
2	プレゼンテーション法（2回）	パワーポイントなどのパソコンソフトの活用法、作成法を指導する。	
3	研究の進捗状況の報告・検討（4回）	研究の進捗状況と得られたデータの検討。	研究の進捗状況を常に把握しておくこと。
4	学会発表要旨および論文作成法（5回）	学会発表要旨および論文作成の指導、英文ライティングのためのパソコンソフトの利用を指導する。	学会発表、和文もしくは英文の論文投稿に努める。

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

植物生理・生態、土壌肥料、植物栄養、環境などの専門書、英文ライティングに関する専門書を通読すること。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

必要に応じて紹介する。

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

紹介した論文の理解度、ディスカッションへの参加、学会発表などを総合して評価する。

◆その他受講上の注意事項

各自の研究進捗状況とデータについてのディスカッションを演習に取り入れるので、研究の遂行状況など常に指導教員との連絡を密にすること。